

西原小だより

学校だより

6月号

在籍児童数

6月1日現在
1年 38名
2年 37名
3年 30名
4年 38名
5年 31名
6年 36名
つばさ学級 6名
合計 216名

良き心を残す

校長 山崎 祐一

ウクライナへの思いを込めて、葦原中
学校の生徒さんが自主的に動いて保護
者や地域を巻き込んだ千羽鶴の制作が
テレビや新聞等で報道されました。生徒
の中から課題意識が生まれ、その思いが
学校・家庭・地域へと広がった素晴らし
い取組でした。この背景には人を想う温
かな心の教育が日頃から葦原中で行わ
れていたからだと思っています。

驚いた事に一時期SNS上では千羽
鶴の話題で激論が交わされていました。
千羽鶴をウクライナへ贈ろうとする取
組に否定的な意見が多く書き込まれた
のです。千羽鶴を現地に届けても意味が
ないという意見です。確かに千羽鶴は今
のウクライナには何の役にも立たない
かもしれない。しかし物や形ではない
人の想いや願いを贈る行為は本当に意
味がないのでしょうか。どこか物や形に
こだわら過ぎ、物事の判断や価値を損か
得か要か不要か益か不益かだけで考え
ている様に感じてしまいます。

私たちが今では当たり前身につけ
ているネクタイの起源は諸説あります。

16世紀末、妻や恋人が戦場での無事
を祈って贈った白いスカーフを首に
巻いたクロアチア兵士が起源という
説が有力です。戦場での兵士にはスカ
ーフは必要ないかもしれませんが。しか
しスカーフを巻いた兵士たちは大変
勇気づけられたと言われています。心
の籠った想いや願いは形ある物以上
に希望や勇気を与えるものです。

子どもは家庭・学校・地域で育つと
言われています。家庭では人としての
あるべき生き方やものの道理を親の
姿から学びます。学校では学問を通し
て社会の仕組みや生きるための知識
や情報、集団生活から社会性や協働性
を学びます。地域では奉仕活動やお祭
り等を通して地域の大切さや郷土愛
を学びます。三者の役割が調和し融合
し機能するところに子どもはすくす
くと育つと信じています。

そのためには三者を貫く共通の基
盤が必要だと感じています。それは大
人が子どもに「良き心を残す」です。
家庭の中では温かな言葉遣いや思い
やり溢れる言動を日頃から行う事で
す。どんなに心が疲れていても人の悪
口や汚い言葉を言わない事です。そし
て他者の素晴らしさを素直に認めて
祝福する広き良き心を見せる事です。

学校では職員が生き方の基礎基本を自
らの姿で伝える事です。手抜きや要領を
使う事は大人になってから覚える事と
肝に銘じる事です。地域は近所同士が仲
良く助け合う姿を見せる事です。近所同
士はいかに大切な存在かを伝える事で
す。家庭や学校や地域で良き心を残し続
ければ、子どもがすくすくと育つ最適
な環境が生まれ、自然と良き心遣いので
きる子どもが育っていきます。桜の花びら
が敷き詰められた春の西原小の様に家
庭や学校や地域をたくさん「良き心の
花びら」で敷き詰めたいです。

人から信頼され社会に好影響を与え、
組織や社会のリーダーとなる人は良き
心で染まった温かな家庭で育っていま
す。相手が間違っついても決して声高に
批判したりしません。知識や情報や理屈
や持論以上に人の縁や心の繋がりを大
切にします。だから多くの人から信頼さ
れ、自然と引き上げられてリーダーとな
って行くのです。社会で活躍するリーダ
ーとは他者が創るものなのです。

千羽鶴に取り組んだ葦原中の生徒さ
んの心は必ず後輩たちへと繋がるはず
です。千羽鶴に込めた温かな思いは国境
を越えてウクライナの人々に希望を与
える事でしょう。良き心を残す行為は究
極の人間教育だと思っています。

★第1回親子除草を実施

5月11日(水) 親子除草が行われ
ました。平日でしたが昨年を上回る3
0名近い保護者や地域の皆様のご参加
に深く感謝申し上げます。子どもたち
と保護者そして地域の皆様と教職員が
共に一生懸命に学校をきれいにしよう
と頑張る姿が美しかったです。「環境は
人を創る」と言われます。きれいな学
校にはきれいな心を持つ子どもたち
が育つと信じています。今回の親子除
草は子どもたちへの素晴らしき心の教
育になったと思います。終了後、数え
きれない程のゴミ袋が集まりました。
ご参加いただいた保護者や地域の皆
様、本当にありがとうございました。
学校全体がとても美しくなりました。

★今年もプール清掃を実施

5月10日(火) 今後のプール指導
に向けてプール清掃を行いました。今
年度は4・5・6年生も清掃活動に参
加し、平日にもかかわらず10名の保
護者の皆様にもご協力いただきました。
短時間でプールが整備されました。
プールの中や周辺には長い間に溜ま
った泥や落ち葉や枝等が溢れていまし
た。大変な作業にもかかわらず子ども
たちの取り組む姿勢は実に見事とし
ました。少ない人数であっても一人ひと
りの素晴らしき取組に多くの先生たちか
ら称賛の言葉が聞かれました。ご多用
の中にも参加して下さいました保護者の皆
様には心から感謝しています。

★**県学力学習状況調査**

5月12日(水)に4・5・6年生対象の県学力調査が実施されました。子どもたちは熱心に問題に向き合っていました。特に県の調査は毎年の学力の伸びを経年変化で明らかにしていく画期的な調査です。結果を次の学習へ生かしてほしいです。

★**地区役員連絡会**

5月20日(金)、本校図工室で地区役員連絡会が開催されました。各地区の代表者の皆さんが一堂に会して登校引率・資源回収・通学班等の議題を協議・確認しました。ご多用な中でのご参加に感謝致します。

★**引渡し訓練**

5月14日(土)雨天時の形態で引渡し訓練を実施しました。クラスごとに保護者・ご家族の皆様を一人ひとり確認しながら、子どもたちは引き渡されていきました。災害はいつ何時起こるかわかりません。引渡し訓練へのご参加ありがとうございます。

★**P T A 総会**

5月13日(金)昨年度と同様に令和4年度P T A総会を書面にて開催しました。会員の皆様からのご承認をいただき、柿沼紀久代会長様を中心とする新組織がスタートしました。今後も学校とP T Aが共に協力しながら西原小を前に進めていきたいと思います。

★**2年町探検**

5月20日・25日の両日、2年生の町探検が行われました。普段生活している身近な地域を歩き、様々な気づきや発見をしました。また多数の保護者の皆様ボランティアで付き添いをして下さいました。ご協力頂いた地域の皆様ありがとうございます。

★**交通安全教室**

5月24日(火)、本校校庭にて交通安全教室が開催されました。当日は東入間警察署や交通安全協会や交通指導員さんや市職員9名が来校して実際の横断練習や自転車の乗り方や点検等をご指導いただきました。低・中・高学年ごとに実施しました。

★**租税教室**

5月18日(水)6年生を対象にした租税教室を川越法人会から5名の講師を招いて実施しました。6年生たちは税金の仕組みや使い方等の講師の話を真剣に聴いていました。将来の納税者としての役割を果たす事の意義や価値を学びました。

★**食育授業**

6年生を対象にあおぞら給食センター勤務で本校栄養教諭の小峯諭先生が5月13・17日に包丁の使い方や朝食の大切さ等に関する授業を行いました。6年生たちは食の大切さを学ぶ貴重な機会を体験しました。

★**リコーダー講習会**

5月23日(月)大塚照道先生を招いて3年生対象のリコーダー講習会を行いました。コロナ禍でのリコーダーの注意点を学びました。

★**つばさ学級1組**

6月よりつばさ学級1組は、教室棟1階会議室隣へ配置替えになりました。教室の広さを拡大して一層充実した学習活動を実施していきます。よろしくお願いします。

★**町会定例会**

本校学区内の町会(学園・亀久保・武蔵野)の5月の定例会に参加して日頃の感謝と連携・協力をお願いします。地域協働学校の充実には相互の信頼関係は不可欠です。町会の皆様ありがとうございます。

★**5月消毒ボランティア**

感染防止にご尽力して下さいました皆様です。ほぼ毎日、どなたかが校内の消毒をして下さっています。岩村様・上原様・小川様・佐藤様・西條ご夫妻様・二瓶様・永井様

★**教育実習**

実習生は文教大学生の田畑千咲先生です。毎週1回本校で実習をされていた先生です。6月7日まで毎日2年2組の松井学級で教育実習を行います。宜しくお願いします。

★**緑の羽根募金**

5月23日～27日まで保健福祉委員会が緑の羽根募金を行いました。ご協力ありがとうございます。

★**花の植え替えにご協力願います!**

6月9日(木)飼育園芸委員会による校内の花の植え替え作業を行います。保護者・地域の皆様、ぜひご協力をお願いします。(時間) 14:55～15:40

★**6月の学校等の予定(変更あり)**

- 1日(水) 内科検診・プール開き
- 3日(金) 児童集会・文京学院大生来校
- 6日(月) 読み聞かせ
- 7日(火) 12年合同遠足・音楽朝会
- 8日(水) 西原タイム・尿検査予備日
- 9日(木) 音楽鑑賞教室(6年)
- 10日(金) 委員会活動・合同遠足予備日
- 13日(月) 教育実習最終日
- 14日(火) 体育朝会
- 15日(水) 4年校外学習(川の博物館等)
- 16日(木) 美化活動・クラブ活動
- 20日(月) 読み聞かせ
- 23日(木) 学級懇談会(12年) ともしび号来校
- 24日(金) 学級懇談会(34年)
- 27日(月) 学級懇談会(56年)
- 28日(火) 3年校外学習・お話朝会
- 30日(木) 委員会活動

私たち大人が子どもや孫に一番残すべきものは何かと問われれば、学歴や財産や正義も大切ですが、私は道理に合った生き方や考え方だと思っています。確かに今、正直者が首を傾げる光景を目にします。虚偽の申請で不正受給をする人、禁止時間や場所で飲酒や飲食をする人・・・人としての常識を欠いた人も多いです。しかしその行為が人生で大切なものを傷つけている事に誰も気づいていません。道理に反した行為が心の遺伝子となって我が子や子孫に悪影響を与える事に残念ながら気づいていません。

子育てを確かなものとするにはどんな子育てをするかではなく、親がどんな生き方をするかだと思っています。成功例を真似た子育てをしても、道理に反した生き方をしていれば効果はありません。清廉潔白であるべきとは言いませんが、少なくとも我が子に見られて恥ずかしくない生き方だけはしたいものです。道理に合った生きる姿こそが最高の子育てであり教育なのです。